



人口から約3割減少するという危機的な状況が踏まえながら、尾道市が行っている平成26年のおのみち幸齢プロジェクトをご紹介します。プロジェクトでは、ウォーキングや囲碁などを通じて楽しみの

中でも2040年には2010年の総人口から約3割減少するという危機的な状況が踏まえながら、尾道市が行っている平成26年のおのみち幸齢プロジェクトをご紹介します。プロジェクトでは、ウォーキングや囲碁などを通じて楽しみの



11月例会

11月17日(月)、11月例会が開催されました。尾道市前副市長であります加納



ある老後を迎えるという価値観の転換をご提示頂きました。現在子育てを行っているメンバーも多い青年会議所でも、先生からの「あと一人子どもをもうける気がありますか。」という問いに対して、手がさつと挙がらないところが問題であると非常に分かり易くも大切な指摘を頂いたことと思います。今後、人口が減少していく中でどういった価値感で生きる楽しみを見つけていくのか、また我々青年会議所メンバーができることを今後とも考え行動していく必要性を感じた例会でした。

ご設営にあたって頂きました石森委員長率いる輝き溢れる教育推進委員会のみなさま、本当にありがとうございます。

(記事：勝馬達)



11月17日(月)、11月例会内において、バッチ授与式が行われました。本年度新入会員、歌一行君、大本誠君、川原奨二君、川口晴康君、高升純君、高橋洋樹君、長坂侑君、日暮泰広君の8名に安部理事長よりバッチが付与されました。代表して日暮君から挨拶がありました。その中で、尾道のまちに対する熱い思いや青年会議所の活動に対する意気込みしつかりとを聞くことが出来ました。本当に堂々とした挨拶でしたので、傾聴している一同、初心に返る思いを感じると共に、大変心強い8名が入会して下さったことで、尾道青年会議所にとっての新たな魅力となることを確信しています。今後はまちのリーダーとして、尾道を牽引していくことが期待されます。これから益々尾道青年会議所が発展していく希望を感じるセレモニーとなりました。

(記事：武田大俊)

バッチ授与式



11月24日(月)、松永運動場にて追出し野球大会が開催されました。西本先輩も卒業予定者の皆様の為に来て下さり、総勢21名のメンバーが集まりました。卒業予定者の皆様は、尾道青年会議所を7年ぶりの中国地区大会出場、そしてベスト4に導くなど、チームの中心選手として活躍されました。その実力を如何無く発揮し、とても寒い夜でしたが、それを忘れさせるくらいの白熱した試合となりました。

(記事：中司昌克)

追出し野球大会



11月23日(日)、秋晴れにも恵まれ尾道うずしおカントリークラブにて秋季ゴルフ大会が行われました。絶好のゴルフ日和で、先輩を囲んでの記念写真の後、安倍理事長の始球式に続きプレー開始となりました。また秋季ゴルフ大会は追出しコンペの別名もあり、当日参加した川辺貴久卒業予定者、中浜聖登卒業予定者、高橋司卒業予定者をはじめ、卒業予定者からの賞品が手渡され、受け取られた方は皆さま嬉しそうでした。卒業予定者の皆様、ありがとうございます。

(記事：三谷彰紀)

追出しコンペ 秋季ゴルフ大会



ついに12月、今年最後のJCLIFEをお届けすることができました。今月号では各委員会にこの1年を振り返っていただきました。私も振り返ってみました。1年間、数々の事業を間近で見させていただき、皆様の輝く姿を追い続けることができました...当委員会はそんな幸せな委員会だったと、思います。皆さん、1年間おつかれさまでした!

そして、4面には追出し野球、追出しコンペの記事が。もうそんな時期なのですね。このJCLIFEが配られるのは12月卒業例会です。さあ全員で卒業生の皆様を盛大に追い出しましょう!というわけで、1年間ご愛読誠にありがとうございました。これからも実りある“JCLIFE”を。

(記事：三谷 彰紀)

編集後記

委員会
報告
輝き溢れる教育推進

輝き溢れる教育推進委員会委員長の石森です。当委員会は、4月例会に始まり、みんな小林和作画伯になろう展、コミュニケーション能力UPセミナー、11月例会と事業展開してまいりました。

本年度は、尾道市名誉市民の小林和作画伯が亡くなられて40年の節目を迎えられるという事で、当委員会の事業の柱の一つに小林和作画伯関連の事業をさせていただきました。JCメンバーを含め、多くの子ども達、そしてご家族の方にも芸術に関心をもていただけたのではないかと考えております。

委員会メンバーの皆さまには、私の段取りが悪くて、現場合わせが多くご迷惑をおかけしましたが、本当にご協力に感謝しております。ありがとうございました。そして今年一年間、皆さまにも多大なご協力・ご支援をいただきありがとうございました。(委員長:石森 良)



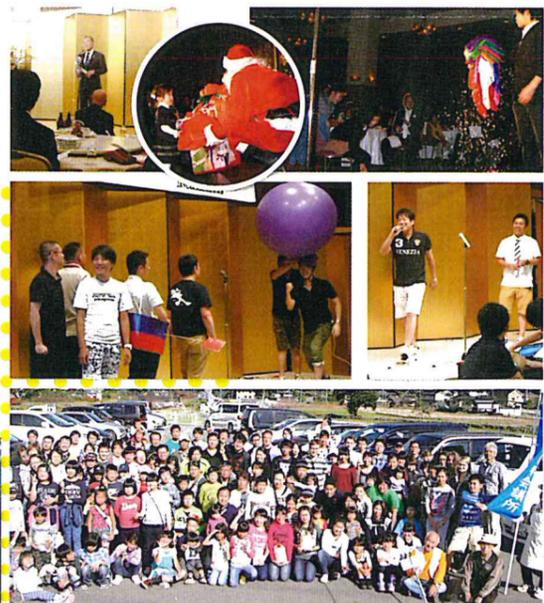
皆様のお力添えを賜りまして、本年度、新入会員を8名迎入れることができました。諸先輩方をはじめ、安部理事長を筆頭に全メンバーには大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年は拡大委員長を仰せつかり、諸先輩方や様々な拡大候補者とお話をさせていただく機会に恵まれましたが、「人は人によって磨かれる」という言葉を改めて実感する一年となりました。それぞれ立場も異なりますし、多種多様な考え、人生観を持っていらっしゃる私自身とても勉強をさせていただきました。この経験を生かし、今後のJC運動も皆様と歩んで行くとともに拡大魂を引き継いでいきたいと思っております。一年間本当にありがとうございました。(委員長:池田 憲泰)

委員会
報告
JAYCEE拡大
委員会



委員会
報告
JAYCEE交流推進

皆さま、JAYCEE交流推進委員会委員長を務めさせていただきました福田でございます。当委員会は、新年宴会、家族会、7月例会、地域交流事業、クリスマスなど会員間の交流を基に5つの事業を行ってまいりました。委員会メンバー含め多くの方々にご支援ご協力をいただき本当にありがとうございました。安倍理事長が掲げる「輝き」のなかに、JAYCEEとしての輝きが次のJAYCEEを誘い、自分の成長が、仲間を集め、また集めた力をまちづくり、ひとづくりの源泉として有機的に成長してゆく事ができる。と書かれてありました。自発性の重要性、委員長を経験させていただき改めて感じています。青年会議所活動も人生もそうですが、自律的に生きることが大切です。他律的な思考に成長はありません。生きるとは生き永らえることではなく、何かに命を燃やすこと、命をかけても惜しくない程の対象に出逢うことだと感じます。本当に良い経験をさせて頂きありがとうございました。(委員長:福田 隆一)



委員会
報告
輝くJAYCEE育成会議

当会議体は、会員一人ひとりがJAYCEEとしての活動の本質を捉え、資質を向上していただこうと考え一年間活動してまいりました。私たちは「明るい豊かな社会」を築くために、常に能動的に行動し、地域に良い影響を与え続けることができるJAYCEEにならなくてはなりません。

しかしながら、青年会議所活動に対する想いや目的・使命の理解に違いがあり、活動に取り組む情熱の違いを生む一因と感じます。今後も責任と誇りを持った地域の未来を担うリーダーへ成長していただくための積極的に活動をしてまいりましょう。一年間ありがとうございました。(副議長:麻生 裕雄)



委員会
報告
輝くまちづくり

本年輝くまちづくり委員会の事業は、4月のみなと祭りで「ストリートミニリンピックIN尾道」と題しまして、一流のパラリンピック選手や棒高跳び選手をお招きし、実演・一般参加体験競技を行いました。6月には例会行事にて気仙沼商工会議所会頭・菅原昭彦氏を講師としてお招きし、これからの新たな街づくりの展望をご講演頂きました。そしてこれから祭の時期へと突入し、三体・御袖・久保・ベッチャーとお祭り三昧の時期を過ごしました。最後に尾道の新たな名物を作り出そうと言う事で、尾道カクテルコンペディション2014と題し、尾道のパーティーの方々のご協力の元、尾道カクテル「酔桜」を作り出す事が出来ました。この一年間をこのように振り返って見てみると、委員会メンバーはもちろんの事ですが、多くの方々のご協力があってこそ事業が成り立っていた事を、改めて感じ又感謝の気持ちで一杯です。当委員会、一年間本当に輝くことが出来たと思っております。最後に一年間有難う御座いました。(委員長:青山 暢克)



委員会
報告
輝く未来創造

輝く未来創造委員会の山北です。この1年間はあっという間に過ぎた様な気がします。

思い返してみると、みなと祭での「尾道さくらコレクション2014」「デイズニースペシャルパレード」、そして先月開催しました「塚越寛氏講演会」。とにかく主催者側も参加される方も皆さんが楽しめる事業をと思い、本日まで突っ走ってきました。どの事業も大きな大変な事業ばかりでしたが、檀上副理事長、美ノ上副委員長をはじめ、委員会メンバーの皆様、そして尾道青年会議所メンバー皆様のご協力があったり何とか無事終了事ができたと思っております。本当に本当にありがとうございました。

そしてこの1年間の貴重な経験を活かし、2015年度に尾道で開催されます広島ブロック大会に向けて、もう一年だけ全力で突っ走ろうと思っております。尾道の威厳と誇りにかけて、素晴らしいブロック大会となるように2015年度も皆様のご協力を頂きます様、どうぞ宜しくお願い致します。(委員長:山北 真也)

